

癌化学療法 投与計画書（新規・変更）

カルテ番号

氏 名

生年月日

性別

提出日

主治医:

病名: EGFR遺伝子エクソン20 挿入変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
オンセルチニブ不応後のEGFR 遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

手術日

患者本人へ説明した内容:

プロトコール名: CBDCA+PEM+Ami(＜80kg 1サイクル目)

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)

	クール目			
開始日				
次回予定日				

確認事項

- ☐ 1週間以上前からパントパン末 1g/分1を連日服用していること。
- ☐ 1週間以上前にシアノコバラミンの筋注が施行されていること。(以降3サイクル毎に1回)

※0.2又は0.22 μmのフィルターを通して投与

	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1 1月 0日	DAY 2 1月 1日	DAY 3 1月 2日	...	DAY 8 1月 7日	...	DAY 15 1月 14日	
1	カロナール錠200mg		800mg	経口			○	○			○		○	
2	パロノセトロン点滴静注 バッグ(0.75mg)		1/バッグ	点滴	30分		○							
	アロカリス点滴静注 (235mg)		1瓶	点滴			○							
	デキサート(6.6mg)		3瓶	点滴			○							
	ボララミン(5mg)		1A	点滴			○							
	ガスター注(20mg)		1A	点滴			○							
3	生理食塩液		100mL	点滴	30分			○			○		○	
	デキサート(6.6mg)		1.5瓶	点滴				○			○		○	
	ボララミン(5mg)		1A	点滴				○			○		○	
	ガスター注(20mg)		1A	点滴				○			○		○	
4	生理食塩液		50mL	点滴	5分		○							
5	生理食塩液		70mL	点滴	10分		○							
	ペメトレキセド	500mg/m ²		点滴			○							mg
6	生理食塩液		250mL	点滴	60分		○							
	カルボプラチン	AUC=5		点滴			○							
7	生理食塩液		50mL	点滴	5分		○							
8	生理食塩液		100mL	点滴	15分			○			○		○	
9	生理食塩液		250mL	点滴	下記		○	○			○		○	
	ライブリバント	350mg/body		点滴	50mL/hr(2hr) →75mL/hr(1.5hr)に上昇可	総量 250mLに なるよう 調製	○							350mg
	ライブリバント	1050mg/body		点滴	33mL/hr(2hr) →50mL/hr(1.5hr)に上昇可			○						1,050mg
	ライブリバント	1400mg/body		点滴	day8は65mL/hr day15は85mL/hr						○		○	1,400mg
10	生理食塩液		50mL	点滴	15分		○	○			○		○	
11	デカドロン錠		4mg 分 2	経口		day3			○					

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 21日
投与日: day1,2,8,15
サイクル数: 1

《注意事項》

1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。

※アロカリス併用時、CYP阻害のためデキサートの用量減量するが、メーカーおよび他施設での用量設定を参照し、申請医とも相談して、デキサート投与量は下記の通りとする。

- day1: 6.6mg × 3V = 19.8mg ≒ 20mg(アロカリス併用するが減量せず)
- day2: 6.6mg × 1.5V = 9.9mg ≒ 10mg(アロカリス併用するが減量せず)

※day8,15のデキサート10mgとガスターは任意だが、申請医と相談し、当院では投与する方針とする。